

開講専攻	環境・生命工学専攻 (環境デザイン工学分野)	前橋工科大学 シラバス			
科目名	建築学論A	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		1・2・3年次	選択	53000301/53000302	
担当教員	宮崎、関、石川、高橋、北野、三田村、堤	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期/後期		
授業の教育目的・目標	建築学のあらゆる分野を総括し、環境や生命工学に関連する研究分野の専門家との接点を見出すことが可能になるよう建築学を基盤とした、自然科学研究方法論を身につけることを目標とする。				
専攻の学習・教育目標との関係	環境・生命工学という広大な研究領域を俯瞰できる研究者を目指し、建築学を基盤として、文献調査や研究討論の方法を含め研究方法論に関するに関する基本的な能力を涵養する。				
キーワード	博士論文、プレゼンテーション				
授業の概要	建築計画・意匠、建築構造・材料、環境工学・建築設備の各分野において、自然と調和した社会環境を構築するために、実験・調査という客観的な実態から理論と技術を詳細に教授する。また、本分野における最先端の論文を精読し、議論を重ねる。				
授業の計画	第1回:	地域環境デザイン論			
	第2回:	都市空間論			
	第3回:	居住環境史論1			
	第4回:	居住環境史論2			
	第5回:	建築意匠論1			
	第6回:	建築意匠論2			
	第7回:	建築気候論1			
	第8回:	建築気候論2			
	第9回:	建築気候論3			
	第10回:	建築生産論			
	第11回:	建築マネジメント論			
	第12回:	建築耐震解析論			
	第13回:	建築構造設計論			
	第14回:	建築構造性能論1			
	第15回:	建築構造性能論2			
受講条件・関連科目	指導教員との議論に必要な基礎知識が必修である。				
研究方法	受講生による文献調査と紹介および研究テーマ設定と課題解決の進め方に関する発表を行い、その内容についての議論を行う。				
テキスト・参考書	主・副指導教員の指定する文献、テキスト、資料を用いる。				
成績評価	課題取り組み、発表状況、議論内容等を総合的に評価する。				
履修上の注意	上記の能力の向上を図ることを念頭において、主体的に参加すること。				
オフィスアワー	教員と打ち合わせを行い、随時。				